

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月9日

上場取引所 大

上場会社名 イハラサイエンス株式会社

コード番号 5999 URL <http://www.ihara-sc.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中野琢雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 長岡 敏

TEL 03-6721-6988

四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (一般投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	4,776	△9.0	564	△23.8	514	△25.6	324	△21.0
24年3月期第2四半期	5,246	0.2	740	△13.5	690	△18.1	410	△10.9

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 315百万円 (△21.8%) 24年3月期第2四半期 407百万円 (△10.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	27.75	—
24年3月期第2四半期	35.12	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	13,970	8,507	60.9	728.30
24年3月期	14,096	8,395	59.6	718.73

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 8,507百万円 24年3月期 8,395百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	15.00	15.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,240	△9.8	1,100	△20.5	1,020	△24.2	630	△9.9	53.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成24年11月9日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	14,000,000 株	24年3月期	14,000,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	2,318,681 株	24年3月期	2,318,634 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	11,681,332 株	24年3月期2Q	11,681,509 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成24年5月11日発表の通期連結業績予想を修正しております。
2. 本資料に掲載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) セグメント情報等	9
(7) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興需要などを背景に緩やかな回復が続きましたが、足元では回復の動きに足踏み感が見られます。一方の外需は、長引く欧州債務問題を背景に、中国やインドなど新興国にも景気の減速が波及したこと、さらに長引く円高による影響から、輸出産業に停滞感が出ております。

このような経済環境のもと、当社グループにおいては、素材、製品、工程設計、生産方式、販売方法をすべて変え、品質、価格ともに、どの国にも負けない競争優位の体制作りを進めております。

しかしながら、業績面では、当社グループの主な市場である工作機械、産業機械、建設機械市場におきましては、国内需要に停滞感が見られ、半導体、液晶製造装置関連市場におきましては、市況の低迷によるメーカーの設備投資抑制の傾向が強まっており、受注回復には結びついておりません。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は47億76百万円（前年同期比9.0%減）となり、営業利益は5億64百万円（前年同期比23.8%減）、経常利益は5億14百万円（前年同期比25.6%減）、四半期純利益は3億24百万円（前年同期比21.0%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

当社は製品構成から以下4事業所を報告セグメントとしております。

（静岡事業所）

半導体及び液晶製造装置関連市場向けのクリーンなバルブ、配管ユニット等を生産しており、半導体・液晶関連製造メーカーからの受注が減少し、売上高は8億14百万円（前年同期比15.7%減）、セグメント利益は1億66百万円（同10.1%減）となりました。

（岐阜事業所）

一般産業の油空圧配管用の継手、バルブ等を生産しておりますが、重点市場である建設機械・工作機械市場向けは、やや設備投資が鈍化し、売上高は22億10百万円（前年同期比1.0%減）、セグメント利益は9億42百万円（同3.6%減）となりました。

（山形事業所）

半導体及び液晶製造装置関連、さらに分析・各種計装及び食品・パワープラント・化学市場に向けての継手、バルブ等を生産しており、半導体・液晶関連製造メーカーからの受注が減少し、売上高は12億40百万円（前年同期比26.7%減）、セグメント利益は3億9百万円（同40.4%減）となりました。

（IPEC岐阜事業所）

流体別・用途別に最適な配管システムを提供することを目標にロング継手、カセット生産、配管設計・施工を行っており、建設機械関連の受注にやや陰りがみえましたが工事の受注増等により、売上高は6億63百万円（前年同期比22.3%増）、セグメント利益は1億45百万円（同36.4%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローで10億4百万円のプラス、投資活動によるキャッシュ・フローで2億14百万円のマイナス、財務活動によるキャッシュ・フローで6億35百万円のマイナスとなりました。この結果、現金及び現金同等物は前連結会計年度末より1億44百万円増加し56億99百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果得られた資金は10億4百万円（前年同期は88百万円のプラス）でありました。この主な要因は、税金等調整前四半期純利益の計上5億11百万円、賞与引当金の増加による2億4百万円の増加、売上債権の減少による3億8百万円増加、仕入債務の減少による1億12百万円減少等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果使用した資金は2億14百万円（前年同期は3億12百万円の支出）となりました。この主な要因は有形固定資産の取得による1億86百万円でありました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果使用した資金は6億35百万円でありました。この主な要因は、社債の償還による2億50百万円、長期借入金の返済による1億81百万円、配当金の支払いによる1億73百万円の減少であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間における実績を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、平成24年5月11日に公表いたしました平成25年3月期の通期連結業績予想を修正いたしました。詳しくは本日別途公表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(たな卸資産の評価方法)

当社連結子会社のうち、山形イハラ株式会社における製品及び仕掛品の評価方法は、従来、売価還元法によっておりましたが、当社が当社と同一のシステムへ移行したことに伴い、当社と同一の評価方法を採用することが可能になったため、第1四半期連結会計期間から移動平均法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）に変更いたしました。

当該会計方針の変更は、前期以前の連結会計年度に係る製品及び仕掛品の取得時期の記録が一部入手不可能なため、移動平均法に基づく第1四半期連結会計期間の期首の製品及び仕掛品の帳簿価額と、前連結会計年度の期末における製品及び仕掛品の帳簿価額の差額を元に算定した累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首残高に反映しております。

これにより、従来の方と比べて、当第2四半期連結会計期間末における製品が43百万円減少し、仕掛品は15百万円減少し、当第2四半期連結累計期間の売上原価は12百万円増加いたしました。その結果、営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益がそれぞれ同額減少し、少数株主損益調整前四半期純利益及び四半期純利益が7百万円減少しております。

なお、この変更により利益剰余金の遡及適用後の期首残高は28百万円減少しております。

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,554	5,699
受取手形及び売掛金	2,264	1,955
商品及び製品	353	349
仕掛品	390	336
原材料及び貯蔵品	695	685
繰延税金資産	61	162
その他	149	104
流動資産合計	9,470	9,294
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,679	1,645
機械装置及び運搬具（純額）	522	535
土地	1,420	1,420
建設仮勘定	62	136
その他（純額）	68	58
有形固定資産合計	3,753	3,796
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	80	96
長期貸付金	5	4
生命保険積立金	67	72
繰延税金資産	534	533
その他	70	49
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	757	756
固定資産合計	4,626	4,675
資産合計	14,096	13,970

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	434	321
1年内償還予定の社債	400	300
短期借入金	411	381
未払金	216	176
未払法人税等	93	275
賞与引当金	—	204
役員賞与引当金	15	—
その他	43	77
流動負債合計	1,614	1,736
固定負債		
社債	350	200
長期借入金	1,793	1,611
退職給付引当金	1,534	1,516
役員退職慰労引当金	184	173
資産除去債務	53	53
その他	170	170
固定負債合計	4,086	3,726
負債合計	5,701	5,463
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,564	1,564
資本剰余金	618	618
利益剰余金	7,955	8,075
自己株式	△1,742	△1,742
株主資本合計	8,395	8,515
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	△5
為替換算調整勘定	—	△2
その他の包括利益累計額合計	0	△7
純資産合計	8,395	8,507
負債純資産合計	14,096	13,970

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	5,246	4,776
売上原価	3,658	3,405
売上総利益	1,587	1,370
販売費及び一般管理費	846	806
営業利益	740	564
営業外収益		
受取利息及び配当金	0	1
仕入割引	0	0
その他	2	4
営業外収益合計	3	5
営業外費用		
支払利息	8	12
為替差損	30	25
売上債権売却損	7	6
売上割引	0	0
その他	6	11
営業外費用合計	53	56
経常利益	690	514
特別損失		
投資有価証券評価損	—	2
ゴルフ会員権評価損	2	—
訴訟和解金	1	—
特別損失合計	3	2
税金等調整前四半期純利益	686	511
法人税、住民税及び事業税	315	267
法人税等調整額	△38	△79
法人税等合計	276	187
少数株主損益調整前四半期純利益	410	324
四半期純利益	410	324

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	410	324
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2	△5
為替換算調整勘定	—	△2
その他の包括利益合計	△2	△8
四半期包括利益	407	315
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	407	315

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	686	511
減価償却費	128	138
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△4	△18
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	10	△10
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△20	△15
賞与引当金の増減額 (△は減少)	261	204
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	2
受取利息及び受取配当金	△0	△1
支払利息	8	12
為替差損益 (△は益)	10	8
ゴルフ会員権評価損	2	—
売上債権の増減額 (△は増加)	35	308
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△41	21
仕入債務の増減額 (△は減少)	△106	△112
未払金の増減額 (△は減少)	△167	△36
その他	△23	80
小計	779	1,094
利息及び配当金の受取額	0	1
利息の支払額	△8	△14
法人税等の支払額	△682	△77
営業活動によるキャッシュ・フロー	88	1,004
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△292	△186
無形固定資産の取得による支出	△5	△14
投資有価証券の取得による支出	△2	△2
保険積立金の積立による支出	△5	△5
子会社株式の取得による支出	—	△28
その他	△6	22
投資活動によるキャッシュ・フロー	△312	△214
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△6	△30
長期借入れによる収入	706	—
長期借入金の返済による支出	△210	△181
社債の償還による支出	△275	△250
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△173	△173
財務活動によるキャッシュ・フロー	40	△635
現金及び現金同等物に係る換算差額	△10	△8
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△193	144
現金及び現金同等物の期首残高	5,660	5,554
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,466	5,699

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	静岡事業所	岐阜事業所	山形事業所	IPEC岐阜事業所	計		
売上高							
外部顧客への売上高	934	1,971	1,617	509	5,032	213	5,246
セグメント間の内部売上高又は振替高	31	260	73	32	398	2	401
計	965	2,231	1,691	542	5,431	216	5,647
セグメント利益	184	977	519	106	1,788	5	1,794

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない販売子会社における商品売上等であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,788
「その他」の区分の利益	5
セグメント間取引消去	△287
全社費用(注)	△751
棚卸資産の調整額	△14
四半期連結損益計算書の営業利益	740

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	静岡事業所	岐阜事業所	山形事業所	IPEC岐阜事業所	計		
売上高							
外部顧客への売上高	747	1,949	1,170	638	4,505	270	4,776
セグメント間の内部売上高又は振替高	67	261	70	24	423	1	424
計	814	2,210	1,240	663	4,928	272	5,200
セグメント利益	166	942	309	145	1,563	61	1,625

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない販売子会社における商品売上、及び不動産賃貸収入等であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	1,563
「その他」の区分の利益	61
セグメント間取引消去	△324
全社費用（注）	△720
棚卸資産の調整額	△16
四半期連結損益計算書の営業利益	564

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（7）重要な後発事象

当社は、平成24年11月9日の取締役会において、中国に子会社を設立することを決議いたしました。

1. 子会社設立の目的

本格的なグローバル化のため、中国で現地法人を設立し、当社進出をアピールするとともに、新たな市場・お客様の信頼と期待を獲得することを目的としております。

2. 子会社の概要

- (1) 商号 蘇州伊原流体系統科技有限公司
- (2) 住所 江蘇省常熟市
- (3) 設立日 平成24年11月（予定）
- (4) 資本金 50百万円
- (5) 出資比率 当社100%
- (6) 事業内容 当社製品の販売、当社ブランドを提供するためのハード・ソフト・サービスの提供など